



地域共生

地域共生に関するJR西日本グループの考え方

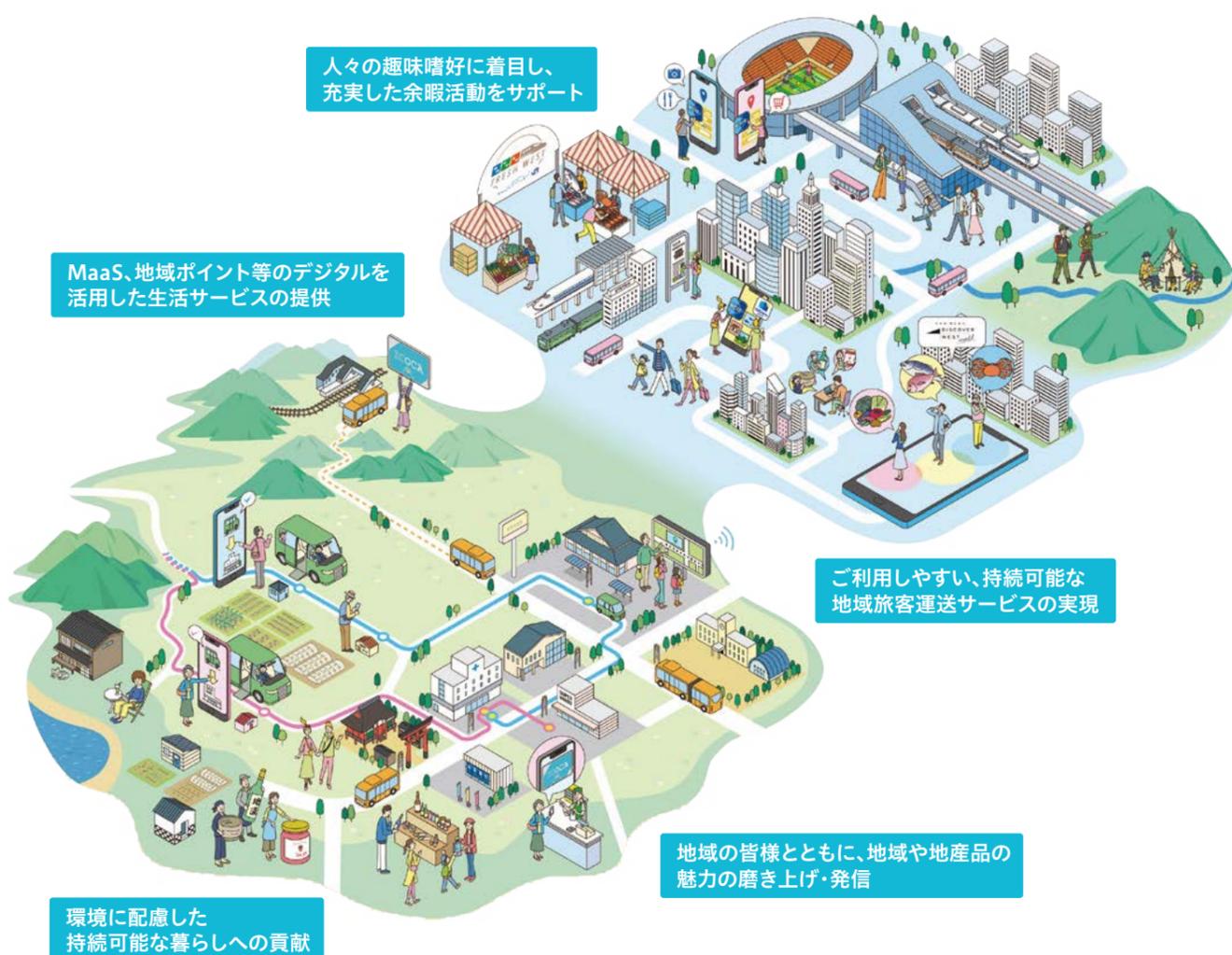
JR西日本グループは、沿線地域の皆様と共に、地場産業の活性化や地域資源の磨き上げを通じ、誰もが訪れたい、住みたい、沿線づくりに取り組んでまいりました。

近年の急速なライフスタイルの変容に伴い、沿線地域のそれぞれの特情にあわせた豊かな暮らしづくりや、災害や環境変化に強い元気な地域経済づくりが一層求められていると感じています。

私たちはグループで展開している事業を通じて、人と人、人と地域をつなぐ/えき・まち等リアルな場とデジタルの情報をつなぐ/沿線の地域と地域をつなぐ役割を果たします。

各地域の活性化に役立つソリューションを提供することで、地域課題を解決し、未来の「well-being」な暮らしを実現していきます。

地域のものがたりを乗せて



地域の皆様と共に、地域や地産品の魅力の磨き上げ・発信

西日本ならではの魅力ある産品を、地域の皆様と一緒に掘り起こし、磨き上げる取り組みを各地で実施しています。あわせて、これらの“逸品”を全国に向け販売するJR西日本直営オンラインショップ「DISCOVER WEST mall(ディスカバークエストモール)」を運営しています。また、新幹線や特急列車などの旅客列車により即日輸送した地域産品のブランド「FRESH WEST(フレッシュウエスト)」や、産品を拠点駅構内で販売するマルシェなどを展開しています。

これらの取り組みを通じ、販路の拡大により地域経済の活性化に貢献するとともに、商品が育まれた環境や生産者の声を直接または間接的に消費者へ伝えることで、その地を「訪ねてみたい」「応援したい」という気持ちを持っていただき、交流人口や関係人口の拡大を通じた持続可能な地域づくりにも貢献してまいります。



オンラインショップで販売中の西日本各地の産品を手にとって購入し、「WESTER」会員になることで特典も得られる「OMO」イベントを開催



高速・低振動での即日輸送で新たな価値を創出。物流業界における2024年問題にも対応します。

コミュニティビジネスの展開

観光客誘致や地域振興、地域交通の活性化といった地域の課題について、地域の皆様と一緒にビジネスの手法で解決する取り組みを各地で展開しています。JR西日本グループが持つモビリティサービスやライフデザイン分野での強み、またエリア内外へのネットワーク力と情報発信力を活かし、行政をはじめ地域の人々、地域の事業者の方々と連携しながら、持続可能で活力ある地域づくりに貢献します。



国土交通省中国運輸局、瀬戸内海汽船グループ、JR西日本グループが連携し、観光型高速クルーザー「シースピカ」を導入。2023年のG7広島サミットで要人輸送に利用されました。



地域の皆様と連携し、北陸新幹線の福井・敦賀開業を契機として、観光周遊型XRバスを導入することで、観光誘客と地域交通の活性化を目指します。

MaaS、地域ポイントなど、デジタルを活用した生活サービスの提供

ICOCAを活用し、特定の地域内のみで発行と利用ができるポイントサービスを展開しています。

加盟店でのお買い物のほか、地域のボランティア活動やエコ活動への参加などでポイントを付与することができるため、地域内経済循環の活性化に留まらず、地域内のつながりづくりにも貢献します。また、ICOCAの固有IDを活用することにより、子育て支援など、特定の市民へのポイント給付といった行政施策との連携が可能です。地域外の方であっても、お手持ちのICOCAにこのポイントを付与することも可能であることから、例えば、観光事業と組み合わせることによ

り、地域外からの「ヒト・モノ・カネ」の地域内への流入も期待できます。

こうした取り組みにより、地域と市民を支えるデジタル化を後押しし、より活力ある地域の実現に貢献します。



自治体オリジナルのICOCAカード
※画像は岡山県新見市のオリジナルICOCA



ICOCAでご利用いただける新見市コミュニティバス「ら・くるっと」